

医療部会で県外生協を視察しました

11月18日（水）、19日（木）の2日間、県生協連医療部会県外視察が行われ、長野医療生協、東信医療生協、上伊那医療生協、事務局から10名が参加し、郡山医療生協と小野支部を視察しました。

18日には郡山到着後、小野町にある郡山医療生協小野支部を訪問し、小野支部の活動拠点であり、冬期のミニミニデイサービスの会場にもなる「サポートセンターえがお」で小野支部の皆さんに大歓迎を受けました。

懇談では、千葉慶一郎理事より歓迎の挨拶をいただき、郡山医療生協の加藤友介護保険事業部長より小野支部が小野町の委託事業として受けている「小野町ミニデイサービス事業」と「小野町高齢者お助けサービス事業」の概要について説明をお聞きしました。佐藤博之支部長（82歳）からは電動カートで町内を訪問し、支部活動の先頭にたって行動されているお話などを伺いました。今後の課題としては、活動の輪が広がり支部の組合員が増えていく中で、町や町民からの期待も増えているが、その活動を支えるサポーターの育成やボランティアの質の向上などと話されていました。また、医療生協の法人としては、小野支部の活動が個人の頑張りで牽引されてきた状況を踏まえ、組織としての支援も課題とのことでした。

19日には郡山医療生協の組合員センター会議室にて「郡山医療生協のたすけあい活動と地域包括ケア構築に向けた取り組み」について懇談をしました。最初に病院とサポートセンターひなたぼっこ（デイサービスセンターふれあい、桑の実、小規模多機能型居宅介護施設、グ

ループホーム、地域交流スペースいっぶく、がある施設）の視察をし、その後会議室にて、江川専務様より歓迎のご挨拶をいただき、組合員活動部の富岡俊介氏よりご講演をいただきました。また増子副理事長様よりご自身が日々活動されている支部を含め、6つの支部で定期的に行われているミニデイサービスについてもご報告いただきました。支部活動が20年前から自主的に活動されている姿に驚きつつも、日常的な法人や職員の関わり、予算面の支援や今後の地域包括ケアへの移行など意見交換を行い、大変充実した懇談となりました。震災の影響は大きく中期計画が4,5年遅れていると話されていましたが、地域での地道な活動に勇気と元気をもたらした視察となりました。



郡山医療生活協同組合「小野支部」の視察



第4回介護福祉部会が開催されました

日時：12月5日(土) 10時00分～11時45分

場所：東信医療生協 上田生協診療所地域交流室 (上田市)

出席：7名 (コープながの、長野医療生協、東信医療生協、長野県高齢者、全労済、県生協連)

内容：丸橋建一部長が挨拶の後、議事を進行しました。

1. 事務局が以下の報告を行い、確認しました。
 - ・第3回介護福祉部会
2. 事務局が以下の提案を行い、確認しました。
 - (1) 12/5介護福祉交流会の進行・運営・役割分担について
 - (2) 2015年度県外視察(11/12～13)のまとめについて
 - (3) 長野市保健福祉部介護保険課(高齢者福祉課)との懇談会について
3. 各生協の上半期の活動状況などを交流しました。



介護福祉交流会を開催しました

日時：12月5日(土) 13時30分～16時30分

場所：レストラン柴崎 (上田市)

出席：32名

内容：冒頭、生協の介護の現場で仕事をしてきた先輩OBお二人から経験談と参加者へのメッセージをお話いただきました。その後、ワールドカフェ方式で4つのグループに分かれて、長野医療生協OBの高橋奉子さん、小林泰子さん、上伊那医療生協OBの黒川照子さんにもグループに入ってくださいました。テーマは3つ「①自分の印象に残っている利用者さんのこと」「②日頃の悩みや困っていること」「③介護の仕事の魅力って何?」とし、各テーマ20分～30分でのおしゃべりをしました。法人や職場は違っても、日ごろ同じ仕事をしている仲間として、お互いの話、発言には真剣に聴き入り、共感できる場面が数多くあり、どのテーブルも終始大変盛り上がりしました。



最後には、助言者としてご参加いただいた3名の先輩から感想と参加者へのエールを述べていただき、丸橋部会長のまとめ、県生協連の牛澤高志専務理事からはご挨拶をいただき、閉会となりました。

<参加者の声>

- 同じ職種で、同じ悩みを持っていたり、共感できたことで、今後の仕事の励みになった。
- ワールドカフェ方式は本当に多くの意見が出しやすい環境で本当に良かった。
- 気軽に話せる雰囲気と内容で、元気が出ます。今すぐく仕事で悩んでいる中でヒントをもらいました。
- 開会前は緊張していたが、時間が経つにつれ気軽に意見交流ができたので大変楽しかった。

第7回幹事会を開催しました

日時：11月16日(月) 10時30分～12時00分

場所：長野県婦人会館 会議室（長野市）

内容：議事進行は鵜飼会長が行いました。

1. 事務局が以下の事項を提案し、協議を行い承認されました。

- (1) 幹事交代に伴う副会長選出の件
- (2) 第45回長野県消費者大会当日運営について
- (3) 信州豊かな環境づくり県民会議表彰に関わる表彰候補者の推薦について
- (4) 適格消費者団体を目指す「ながの消費者支援ネットワーク」参加検討
- (5) NACS長野分科会との懇談設定について



第45回長野県消費者大会

日時：11月27日(金) 10時30分～15時30分

場所：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

出席：138名

主催：長野県消費者団体連絡協議会

内容：●開会の言葉……才川理恵 副会長

●来賓あいさつ…長野県県民文化部

部長 青木弘様

●基調報告……「長野県消団連の取り組み報告」

牛澤高志 事務局長

●活動報告……「消費者被害をなくすために ～組織を使った活動事例～」

飯田地区労働者福祉協議会 副会長 中島修司様

……「消費者被害をなくすために！ 私たちにできることは？」

～NACS（ナックス）長野分科会と「消費生活サポーター制度」

消費生活アドバイザー 宮原則子様

●特別報告……「新潟県における消費生活サポーター活動の推進」

NPO法人新潟県消費者協会 会長 長谷川かよ子様

●閉会の言葉…岩崎恵子 副会長



市町村消費者行政窓口と消費者団体と消費生活サポーターとの懇談会を県下9会場で開催されました

2015年10月から11月にかけて、長野県内77市町村消費者行政窓口と消費者団体・消費生活サポーターとの懇談会が県内9会場に179人が参加して実施されました。この懇談会は今年で3年目となり、長野県消費者団体連絡協議会が主催して、長野県くらし安全・消費生活課の協力の下に開催されました。

この懇談会は、消費者トラブルをなくし県民が安心して暮らせるまちづくりをめざして、消費者団体と行政との情報交換を目的として開催され、本年は初めて消費生活サポーターにも参加をよびかけ、66人の参加を得て、サポーターの活動についても意見交換を行いました。懇談の中では、消費生活サポーターについて「活躍の場がない、何をやったら良いかわからない、どこまでやってよいかかわからない／行政としては活動機会を用意できない」などの意見も出され、まだサポーターの制度が知られていない現状なども交流しました。その他、高齢者見守りネットワークについては「地域包括支援センターとの連携が重要。お年寄りの相談窓口になっている」「公民館活動の中に消費者問題を組み入れると広がりができるのではないかな」などの意見が出されました。消費者被害防止については「7月に開設された消費者ホットライン『188』を周知する」「啓発の対象は現役世代や未成年者など若年層も必要」など活発な意見が交流され、充実した懇談会となりました。



諏訪会場の様子



長野会場の様子

会員生協情報

上伊那医療生協のデイサービスセンター「つむぎ」紹介 笑顔の絶えない明るい場所

～人と人をつむいでいける施設をめざして～

デイサービス（通所介護）とは一般的に、利用者が施設へ通い、入浴・排泄・食事などの介護、その他、日常生活上の世話や機能訓練が受けられるサービスです。デイサービス「つむぎ」(箕輪町)はこんなところ 温かい雰囲気の中で身体を動かしたり、朗らかに歌い合ったりして笑顔の絶えない明るい場所。人と人との繋がりを「つむぎ」ながら、利用者様とご家族が安心して利用していただけるような場所です。定員15名、職員6名（介護職5名・看護師1名）少人数だからこそ顔なじみの関係がつくれ、同じ趣味を持った仲間と語り、身体を動かすこと以外にも調理(桜餅・五平餅等)やぶどう狩り等の外出もしています。入浴は家庭浴と機械浴があり、体調に合わせて対応しています。近くに上伊那生協病院、訪問看護ステーションみどり等の事業所もあり、何かあった時にすぐに相談・対応ができる環境です。また、認知症専門の研修を受けた介護福祉士もおり、認知症や介護度の高い方の利用も可能です。一日利用は疲れてしまうという方には半日利用も可能です。



長野県協同組合連絡会第5回幹事会が開催されました

日時：12月10日（木）10時00分～11時10分

場所：J A松本ハイランド グリンパル（松本市）

出席：9団体14名

- 内容：1. 「信州大学経済学部との連携講座」開催要領（案）について
2. 協同組合職員交流集会「協同組合の未来に向かって」について

長野県協同組合連絡会が信州大学経済学部との連携講座を開催しました

長野県協同組合連絡会では、2012から2014年まで“産”の立場から、信州大学の学生に対し協同組合に関する学びの場を提供してきたが、本年度は逆に“学”の立場である信州大学から社会人としての学びの場を提供頂く事として、12月10日（木）13時30分からJ A松本ハイランド「グリンパル」大会議室（松本市）にて信州大学経済学部との連携講座を開催し、各構成団体より約70名が参加しました。連携講座は、信州大学経済学部の吉村信之准教授に「ピ



ケティの議論を中心に格差社会を考える」というテーマで90分お話をしていただきました。ピケティ『21世紀の資本』の意義や r （資本収益率） $>$ g （経済成長率）という中心的な主張、世界の富裕層トップ10%が富の50%を所有する構造、さらに、トップ1%が25%の富を有する構造など、格差社会の構造についても論理的に講義いただきました。少し難しい大学の講義は、各参加者には大きな刺激になる連携講座でした。



2015年度 下期研修会のご案内

- ◆日 時：2016年1月22日(金) 13:30~16:30
- ◆会 場：ホテル メトロポリタン長野 2階 梓の間
 - 講演1：「長野県経済の現状と2016年の見通し」(13:30~14:45)
講師：長野経済研究所 調査部長 小澤吉則 様
 - 講演2：「はじめての福島学」 (15:00~16:20)
講師：福島大学つくしまふくしま未来支援センター
特任研究員 開沼 博 様
- ◆参加費：無料
- ◆参加対象：生協の役職員、組合員、関係者
- ◆参加申込：2016年1月15日(金)までに、
県生協連事務局まで申し込みをお願いいたします。
- ◆連絡先：長野県生活協同組合連合会 TEL.026-261-1380

Information

長野県生協連 2016年1月~2月 活動予定

月 日	会議・活動内容など	月 日	会議・活動内容など
1月7日(木)	県労福協・新春交歓会	2月2日(火)	常任理事会
1月8日(金)	国際協力田米出発式	2月15日(月)	協同組合連絡会職員交流会
1月12日(火)~13日(水)	全国政策討論集会	2月16日(火)	理事会
1月18日(月)	第8回県消団連幹事会	2月19日(金)	労福協理事会
1月19日(火)~20日(水)	県労福協・合同研修会	2月22日(月)	第9回県消団連幹事会
1月22日(金)	常任理事会・下期役職員研修会・賀詞交歓会	2月23日(火)	消費者フォーラム
1月25日(月)	協同組合連絡会幹事会	2月26日(金)	県連医療部会
1月26日(火)	地連運営委員会・県連活動推進委員会		
1月29日(金)	県連職員交流会		